学校番号	3032B

令和８年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	論理表現Ⅰ-後期	1	第２学年 後期(探究)	・New Favorite English Logic and Expression Ⅰ （東書） ・EARTHRISE English Grammar in 33 Stages（数研出版） ・Workbook for EARTHRISE English Grammar in 33 Stages（数研出版） ・Data Base 3300（桐原書店）

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

英語の４技能５領域である、聞くこと、話すこと（やり取り）、話すこと（発表）、読むこと、書くことに関する総合的学力をつけるとともに、ディスカッションやプレゼンテーションの技術を学びながら学習します。ですので、英語に親しみを持ち、様々な課題に積極的に取り組んで学習する姿勢が求められます。外国語の習得には授業時間だけでなく日常的な意識と努力がとても重要です。一年生よりもさらに発展的な英語にもチャレンジしてみましょう。

２ 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第２学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと (やり取り)	話すこと (発表)	書くこと
学習到達目標	・基本的な語彙と表現を使い、決まった表現で話された事柄についての概要を理解することができる。 ・授業内の指示を概ね理解することができる。 ・簡単な質問を適切に聞きとることができる。	・基本的な語彙と表現を使用した日常生活の身近な英語の意味を理解することができる。 ・内容の要点を示す語句や文，つながりを示す語句などに注意しながら読むことができる。 ・短い文の概要を理解することができる。	・基本的な語彙と表現に関して、日常生活に用いられる身近な単語に加えてよくつかわれる単語発音できる。 ・英語を使った簡単なやり取りができる。 ・身近な事柄についてやり取りの中で簡単な説明をすることができる。	・基本的な語彙と表現を使い、日常生活や身近な話題に関するスピーチができる。 ・自分の興味関心を簡単な英語を使って表現できる。 ・身近な事柄について状況に応じた簡単な意見や印象を話すことができる。	・基本的な語彙と表現に関して、日常生活に用いられる単語を正確に書くことができ、自らの書く文章に使用することができる。 ・簡単な語を使用して、身近な事柄についての短い文章を書くことができる。

3 学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	音声、句読法、文法事項、語彙、慣用表現など、英語の決まりや特徴を理解習得して、これまでの学習成果を基本として、復讐を交えつつ、実際の場面に即して適切に運用する。	日常的な話題や社会的な話題に関して、与えられた情報・事柄の要点や話し手の意図を理解し、自分の考えや感想を、英語で適切に表現することができる。	日常的な話題や社会的な話題に関して、文化的背景を理解し、自分の意見や感想を交え、事柄の要点を理解し、自ら主体的に発話したり、対話したり、文章を作成することができる。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4 学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
後期	Unit2 Lesson 5 日本を PR	聞くこと	a: 事実と意見を区別する表現を理解して聞き取ることができる。 b: 事実と意見を区別してまとめながら聞き取ることができる。 c: 本文の内容を、概要をまとめながら聞くことができる。	本文内容のまとめチェック
		読むこと	a: 文化や習慣を理解しながらフレーズリーディングができる。 b: 本文の内容を文化と週間の表現を理解しながら読み取ることができる。 c: 文章の論点を整理しながら筆者の主張を読み取ることができる。	音読テスト・内容確認問題
		話すこと（やり取り）	a: 理由を述べるための自分の主張を表現できる。 b: 自分の主張や意見をわかりやすく説明、表現するため、例を挙げられる。 c: 相手の意見を受け止め、その意見に対する同意や反論ができる。	プレゼンテーション・ディスカッション
		書くこと	a: 事実と意見を区別して要約を作成する。 b: 自分の意見をわかりやすく端的に書くことができる。 c: 自分の意見を相手に伝えるための文書表現を活用し、客観的な立場にたって書く。	レポート提出
	Lesson 6 物語の両面を伝える	聞くこと	a: ルームシェアの概要を聞き取ることができる。 b: 本文の利点と欠点を分けながら聞き取ることができる。 c: 本文の内容を、概要をまとめながら聞くことができる。	本文内容のまとめチェック
		読むこと	a: ルームシェアの利点と欠点を区別しながら読むことができる。 b: 本文の内容を読み取ることができる。 c: 文章の論点を整理しながら読み取ることができる。	音読テスト・内容確認問題
		話すこと（やり取り）	a: 自分の主張をもって相手の意見を引用する表現がわかる。 b: 自分の主張や意見をわかりやすく説明、表現する。 c: 相手の意見を受け止め、その意見に対する同意や反論ができる。	プレゼンテーション・ディスカッション
		書くこと	a: ディスコースマーカーを利用して要約を作成する。 b: 自分の意見をわかりやすく端的に書くことができる。 c: 自分の意見を相手に伝えるため話題を発展させながら書く。	レポート提出
	後期中間			
	Lesson7 読み手を納得させる	聞くこと	a: 主張とその理由を聞き取ることができる。 b: 根拠を得ながら本文の概要を理解しながら聞き取ることができる。 c: 本文の内容を、概要をまとめながら聞くことができる。	本文内容のまとめチェック
		読むこと	a: 主張とその理由を理解しながら読むことができる。 b: 本文の内容を読み取ることができる。 c: 文章の論点を整理しながら読み取ることができる。	音読テスト・内容確認問題
		話すこと（発表）	a: 説明や理由を述べるときに使う表現を用いる。 b: 自分の主張や意見をわかりやすく根拠をもって説明、表現する。 c: 相手の意見を受け止め、その意見を理解し、自分の意見や気持ちを表現できる。	プレゼンテーション・ディスカッション
		書くこと	a: 学んだ知識・表現を使って要約を作成する。 b: 自分の意見をわかりやすく端的に書くことができる。 c: 自分の意見を相手に伝えるために適切な表現を使って書く。	レポート提出

	Lesson8 読み手を説得する	聞くこと	a: 引用や条件を区別しながら聞き取ることができる。 b: 本文の概要を本文の表現の形を理解し聞き取ることができる。 c: 本文の内容を、概要をまとめながら聞くことができる。	本文内容のまとめチェック
		読むこと	a: 相手の意見や主張が理解できる。 b: 本文の内容を発言内容を区別しながら読み取ることができる。 c: 文章の論点を整理しながら読み取ることができる。	音読テスト・内容確認問題
		話すこと（発表）	a: 自分の主張と、相手の意見を行う時の表現がわかる。 b: 自分の主張や意見をわかりやすく説明、表現する。 c: 相手の意見を受け止め、その意見に対する自分の意見や感情が表現できる。	プレゼンテーション・ディスカッション
		書くこと	a: 話を順序だてながら要約を作成する。 b: 自分の意見と他人の意見を区別して書くことができる。 c: 自分の気持ちを相手に伝えるための文書表現を活用しながら、条件を出したり、自分の意欲を表現しながら書く。	レポート提出

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度